

パシフィックパワー株式会社 課題提起

2026年3月4日

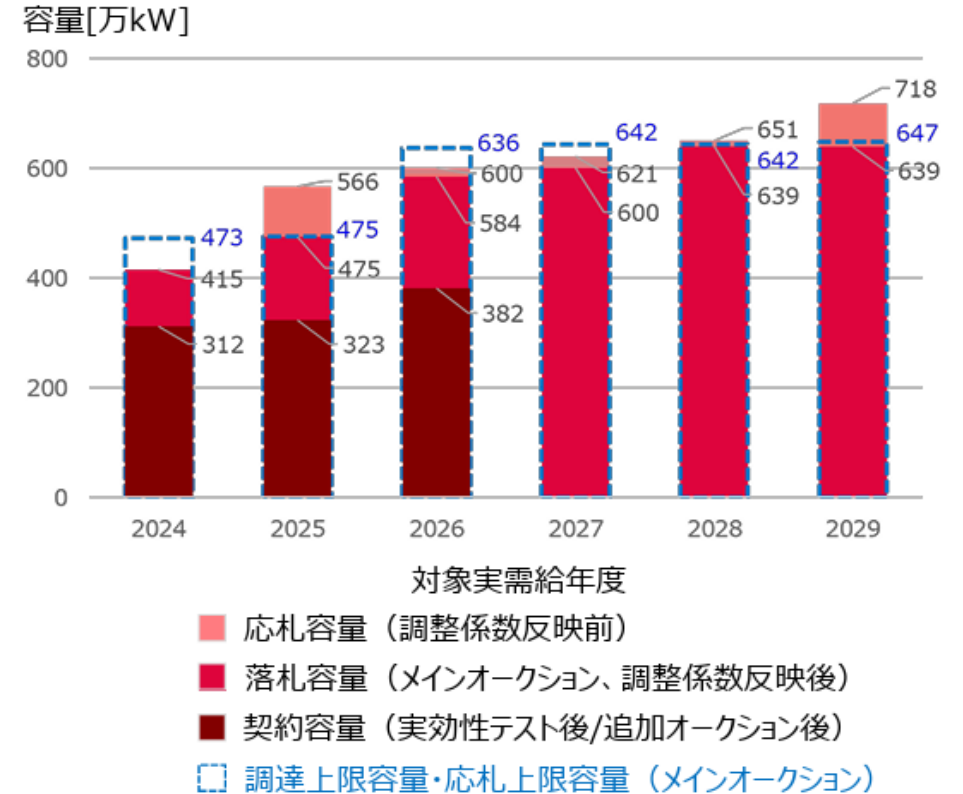


課題提起：系統用蓄電池の容量市場（発動指令電源）への参加について

2029年度向け容量市場において、発動指令電源の応札容量が上限を超えた分について、一部ランダム約定となっている。これは系統用蓄電池の応札が増加していることも一因と考えられる。今後も系統用蓄電池の増加が見込まれ、ランダム約定が増加していくことはDRアグリゲーターにとっても蓄電事業者にとっても望ましくない。

基本的には1,000kW以上の蓄電池は安定電源での参加が必要と整理されているが、解釈次第で発動指令電源で参加している例もあると考えられる。なお、安定電源のリクワイアメントが高圧1-2MW程度の蓄電事業者にとって厳しすぎるのも事実であり、例えば安定電源の区分を高圧と特別高圧以上で分けるなどの方策もあると考える。

＜発動指令電源の応札容量＞



課題提起：系統用蓄電池の容量市場（発動指令電源）への参加について

容量市場概要

募集概要

参加登録

メイン・アクション

契約の履行

容量拠出金

取引・税務

その他

(参考)オークション参加対象となる電源等の詳細

オークション参加対象となる電源等

電源/DR	期待容量※1	電源種別	発電方式別	供給計画に供給力を計上すべき電源※2	供給計画に供給力を計上できない電源※2
電源	計量単位 1,000kW 以上	水力	一般（調整式・貯水式）※3	安定電源／変動電源（単独）	発動指令電源
			一般（自流式）※4		
			揚水※7		
		火力	—	安定電源	
		原子力	—	安定電源	
		再生可能 エネルギー	風力・太陽光	変動電源（単独）	
			地熱・バイオマス・廃棄物	安定電源	
	その他	蓄電池※6	安定電源		
	計量単位 1,000kW 未満	水力	一般（調整式・貯水式）	発動指令電源	
			一般（自流式）	発動指令電源／変動電源（アグリゲート）※5	
			揚水	発動指令電源	
		火力	—	発動指令電源	
		原子力	—	発動指令電源	
		再生可能 エネルギー	風力・太陽光	変動電源（アグリゲート）	
地熱・バイオマス・廃棄物			発動指令電源		
その他	蓄電池※6	発動指令電源			
DR	—	—	—	発動指令電源	

※1：期待容量とは、「電源等情報として登録した設備容量のうち、実需給年度において供給区域の供給力として期待できる容量」です。（詳細は第3章で後述）

※2：供給計画の届出に係るガイドラインに沿って適切に供給計画に計上することが求められるため、供給計画に計上すべき電源等が安定電源又は変動電源に登録が可能です。また、供給計画に計上できない電源等は発動指令電源に登録が可能です。なお、発動指令電源として落札した事業者は、発動指令電源の供給電力の計上内訳について、供給計画の別紙に記載して提出することが求められます。

※3：1,000kW以上の安定的な供給力を提供するものは安定電源となります。そうでないものは変動電源（単独）となります。変動電源（単独）で応札する場合は、一般（自流式）の調整係数を使用して期待容量を算定ください。

※4：ダム水位から供給力を算定している場合及び調整係数に調整能力を加算している場合は安定電源、調整係数のみで供給力を算定している場合は変動電源（単独）となります。

※5：供給計画においてダム水位から供給力を算定している場合及び調整係数に調整能力を加算している場合は発動指令電源、調整係数のみで供給力を算定している場合は変動電源（アグリゲート）となります。

※6：計量単位の期待容量が1,000kW以上の安定的な供給力を提供するもの（1日1回以上連続3時間以上の運転継続が可能な能力を有する蓄電池）は、安定電源としての参加が基本となります。

※7：揚水式は1日1回以上連続3時間以上の運転継続が可能な能力を有するもの限ります。

1,000kW以上
は基本的には
安定電源